

## 第2学年 学級活動指導案

- 1 題材 職場体験学習～社会人・職業人として私たちに必要な力とこれからの学校生活～  
＜内容（3）学業と進路 ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用 ＞

### 2 題材について

#### （1）生徒の実態

本学級の生徒は、仲間を大切にできる行動が取れ、元気で温かい雰囲気を持ち、日々の授業では、調べ学習や班活動を中心とした学習活動に積極的な傾向にある。係活動や清掃活動等では8割程度の生徒が真面目に取り組むことができている。しかし、学級の仲間に支えられないと作業や活動に取り組むことのできない生徒もいる。

#### （2）題材設定の理由

本校では、キャリア教育の重点目標を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度をすべての教育活動を通して育てる」としており、地域人材の活用や体験活動と関連させながら各教科等で将来につながる学びを意識し推進を図っている。

本活動では、職場体験学習後に考察を深め、今後の学校生活に生かすために「社会に出て必要な力を考察する活動」を中心課題としてグループでの話し合いを展開する。そして、生徒自身が課題に向かって協議を深め交流する中で、「社会人として職業人として必要な力とは何か」「学校生活との関わりから課題解決のためにどう努力していくのか」を主体的に考える機会としたい。更に、「一日入学」で新入学生となる6年生に、意義ある学びの場である職場体験学習の成果が伝えられるよう、つなげていきたい。

#### （3）指導のねらい

職場体験学習をもとに社会に出て必要な力について考え合い、社会的・職業的自立のために大切なことを理解し、今後の学校生活に生かす。

### 4 学級活動（3）学業と進路の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
・人間としての生き方や学ぶこと、働くことなどに関心を持ち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	・自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	・学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

### 5 指導の過程

#### （1）事前の活動（例）

- ・朝読書の時間に「みらいスイッチ」の人物紹介を読む。

#### （2）本時の指導

##### ① 本時のねらい

- ・話し合いを通して得られたことを、まとめたり、発表したりすることを通して、社会的・職業的自立のために大切なことを理解し、学校生活に反映させて考えている。【思考・判断】

② 展開

	学習活動	指導上の留意点	目指す生徒の姿 (評価方法)
導 入	1 本時の学習課題を確かめる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           学習課題：職場体験学習を振り返り、私たちが社会に出て仕事をするうえで必要となる力は何か考えよう。         </div>		
展 開	2 職場体験学習を振り返り、お世話になった職場の方々からのメッセージを確認し交流する。  3 職場体験学習でお世話になった職場の方々からのメッセージと「 <u>みらいスイッチ</u> 」から発信される中学生へのメッセージとの共通点や相違点を話し合う。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           p14~17「未来をささえる仕事」            p22~25「未来を動かす仕事」            p30~33「未来をつなぐ仕事」            p38~41「未来を育てる仕事」            p46~49「未来をまもる仕事」         </div> 4 得られた気付きや発見、職場の人からのメッセージを踏まえて、社会に出て仕事をするうえで必要な力は何かをまとめ発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自メモをとりながら聞き、自分にとって必要な力とその理由や学校生活との関連を考えさせる。</li> <li>・朝読書を振り返り、掲載人物のメッセージを想起させる。</li> <li>・グループでの話し合いを取り入れ、自分の考えを深めたり広げたりすることができるようにする。</li> <li>・グループでの話し合いをもとに、全体で話し合い、今の学びが将来につながっていることに気付かせる。</li> <li>・職場体験学習のシートや「みらいスイッチ」を振り返りながら、自分の考えを積極的に発表するとともに、そう考えた理由も述べるようにさせる。</li> </ul>	
終 末	5 本時の学習でとらえた力を今後の学校生活に生かすうえで、大切なことは何かを、「 <u>みらいスイッチ</u> 」の内容と関連させて考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           p6「未来の自分を考えるヒント」         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次のことを視点として、生徒一人一人が考えるようにする。</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に向かう努力</li> <li>○学校生活と社会</li> </ul> </div>	◎今後の学校生活などに生かすために自分のこととして考え、自己決定している。  <b>【思考・判断】</b> (学級活動カード・観察)

6 事後の活動 (例)

- ・個人面談 (三者面談) で、各自が自己決定した内容を話題として振り返る。

**【関心・意欲・態度】**

**【思考・判断・実践】**